

SABTEC 機械式定着工法設計指針(2014 年)概要および今後の展望

－「第 56 回 KSE 技術交流会(2016. 11. 8)」講演要旨－

一般社団法人建築構造支援機構

代表理事 益尾 潔

関西建築構造設計事務所協会(略称 KSE)では、柱梁接合部において注意が必要な太径主筋を用いる高層建築物等で採用されている機械式定着工法をテーマとして、56 回 KSE 技術交流会(2016 年 11 月 8 日)が開催され、筆者は表題の講演を行いました。WEB 講座-37 では、この講演要旨についてご紹介します。

SABTEC 機械式定着工法設計指針(2014 年)概要としては、①指針発刊時に行った当機構主催の講習会での説明内容の要点、②SABTEC 技術評価取得の 6 社定着工法の適用範囲に追加された定着金物の概要、③発刊後の適用実績に基づく柱梁接合部詳細設計に関する知見を中心にご説明しました。

今後の展望としては、SABTEC 機械式定着工法 RC 構造設計指針(2017 年)および RCS 混合構造設計指針(2017 年)の発刊に向けた当機構の活動状況についてご紹介しました。

上記講演の PPT 原稿を以下に掲載しますので、ご覧ください。